



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

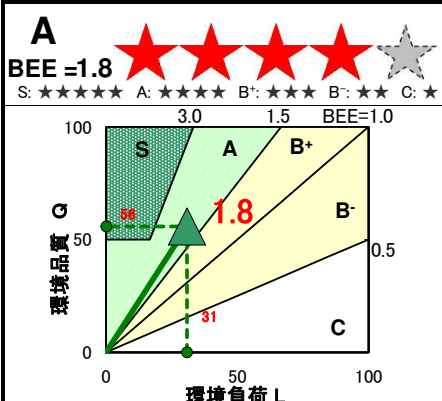
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市淀川区十三東計画 西敷地 新築工事		
建設地	淀川区十三東1丁目		
建築用途	専修学校(派出所付)		
建築主	学校法人履正社		
設計者	高松建設(株)		
敷地面積	1,650.02	m ²	
建築面積	830.63	m ²	
延床面積	6,593.49	m ²	
構造/階数	S造	/	地上9階
完了年(予定)	2024年1月		

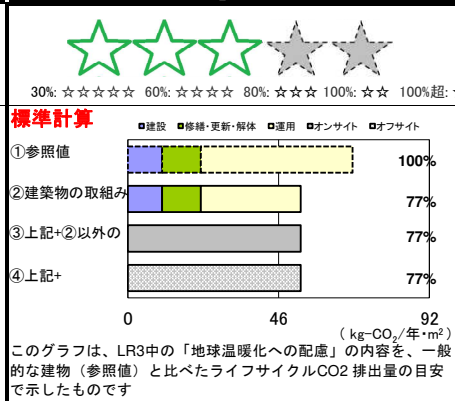
1-2 外観



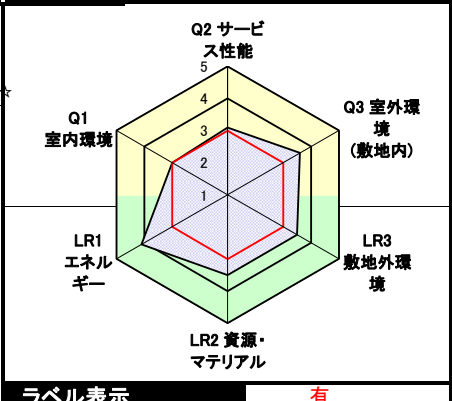
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

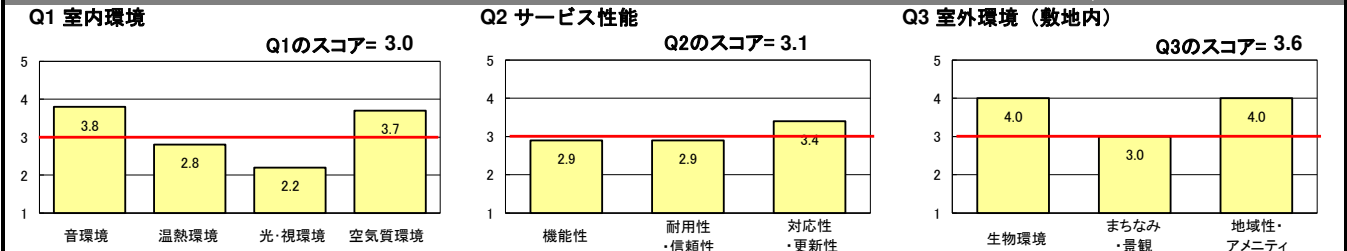


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

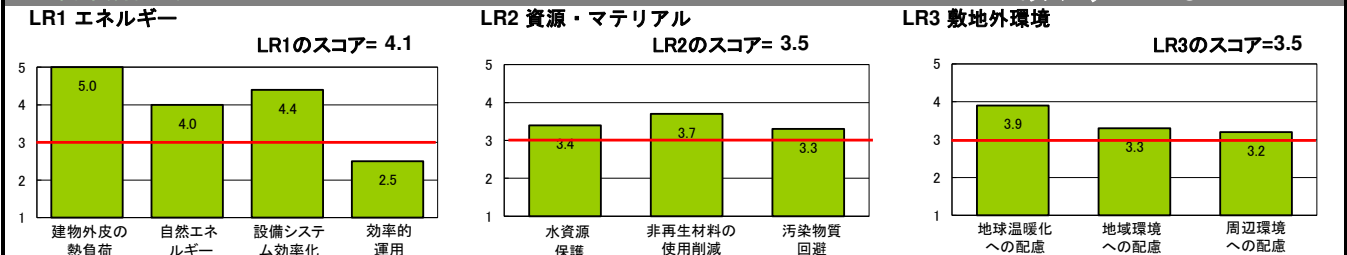


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合

緑豊かな外構計画及び屋上緑化の採用により、自然と親しむ環境と地球環境負荷の低減を同時に取り組んだ。また、地域に開いた学校を目指すべく、ホールの開放や柔道場を地域開放のスタジオとして活用する計画としている。

その他

特になし。

Q1 室内環境

高い遮音性能の建具や内装の吸音材の採用により音環境の向上を図り、ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用することで空気質環境の向上を図る。

LR1 エネルギー

Low-Eガラス等の採用により熱負荷を低減し、LED照明等高効率設備の採用により設備の効率化を図り、照明の昼光センサ制御により自然エネルギーの利用を図る。

Q2 サービス性能

高い階高などにより、ゆとりのある計画とすることで、将来の用途変更などへの対応性の向上を図る。

LR2 資源・マテリアル

内装の天井材や断熱材などにリサイクル材の建材を採用し非再生資源の使用量削減を図る。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地内に高木を多く植栽し樹種を自生種にするなど生物環境の保全に努め、屋上緑化の設置や高熱排熱設備の不採用により温熱環境を向上させアメニティへの配慮に努める。

LR3 敷地外環境

省エネ性能向上を図りライフサイクルCO₂排出量削減し、地球温暖化へ配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.9
配慮事項	LCCO2排出量削減に配慮

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 4.0 敷地内緑化への取り組み
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 4.0 排熱への取組み
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	建物緑化や敷地内緑化により室外環境に配慮

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0
配慮事項	建物の断熱性に配慮

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.4
配慮事項	高効率設備の採用により省エネルギーに配慮

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能

住宅部分 (品確法等級)

-

(相当)

非住宅部分[BEI][BEIm]

0.70

建物全体[BEI][BEIm]

一次エネルギー消費量

0.66

住宅部分[BEI]

-

非住宅部分[BEI][BEIm]

0.66